

建築データ

構造規模 ■ 木造・2階建て、延床面積/123.51㎡(約37坪)
 主な外部仕上げ ■ 屋根/コロニアル、外壁/サイディング、建具/玄関ドア:断熱ドア、窓:樹脂サッシ(Low-E・アルゴンガス入)
 主な内部仕上げ ■ 床/積層フローリング、壁・天井/クロス
 断熱仕様 ■ (外断熱)基礎・壁・屋根/押出法ポリスチレンフォーム(B3)50mm
 暖房方式 ■ ルームエアコン

- 快適と健康を支える外断熱・二重通気工法
- 優れた建物強度を実現する構造材、JWOOD・LVL
- 採光・通風に配慮した設計と高効率設備で、省エネ&小エネ

03



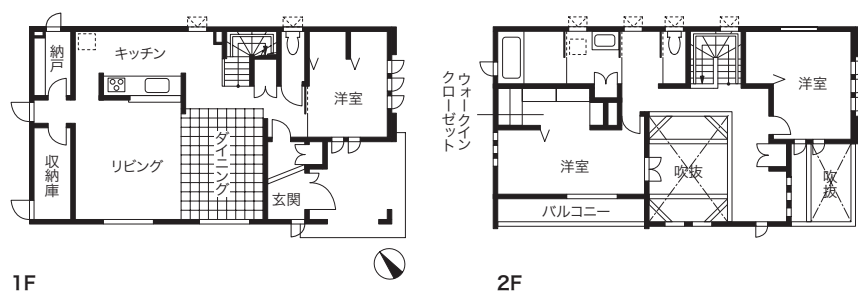
- 1.吹き抜けのダイニングが家の中心。床はテラコッタ風フローリング
- 2.ご夫妻の好きなアジアリゾートをイメージした内装
- 3.白を基調にしたキッチン。効率の良い2ウェイで奥には食品庫も
- 4.上下階をつなぐ吹き抜け。大空間ながら温度差がなく家中快適
- 5.採光とデザイン性を兼ね備えた連続小窓やスリットが空間を彩る
- 6.2階のプライベートルーム。収納スペースは各室にたっぷりと確保した
- 7.優しいカラーの外壁に連続窓がアクセント。長期優良住宅仕様

未来へ繋げる地域住宅生産者グループ

「未来へ繋げる地域生産者グループ」は、夏も冬も快適に暮らせる快適性と住む人の健康、安心・安全をモットーに掲げる団体です。震災を踏まえ、構造材には建物強度に優れたJWOOD・LVLを採用。津波による浸水があったこの住まいの場合は、30センチほどかさ上げも行いました。そして、家づくりの主軸となるのが「外断熱・二重通気工法」です。

屋根と壁だけでなく、基礎も含めて建物全体をすっぽりと断熱材で覆うことで、外気に影響されないシェルターのような住宅性能を確保。同時に、壁内の内外に設けた二重の通気層が温度と湿度をコントロールするので、夏は涼しい風が室内を満ち、冬は熱を逃がさず暖かさを保ちます。「冬の朝もヒンヤリすることがないので、起きるのが楽なんです」と喜ぶ施主のIさん。室温は家のどこにいてもほぼ一定なので、ヒートショックの心配もありません。夏は除湿のみで十分快適なので、おのずとエアコンの使用頻度も少ないのが嬉しいところ。さらにこの住まいは、間口が狭く南面からの採光が厳しいという立地条件にありましたが、吹き抜けと高窓によって明るさを確保したほか、東側に設けた連続窓からも陽射しを採り入れているのがポイント。高効率機器やLEDで省エネを図るだけでなく、できるだけエネルギーを使わない「小エネ」な住まいを実現しています。

平面図



mirai e tsunageru chiiki jutaku seisansha group
 未来へ繋げる地域住宅生産者グループ

問い合わせ先事務局
 大東住宅(株)
<http://daitojyutaku.co.jp/>
 大和町鶴巣太田町田24-5
 TEL.022-343-2021